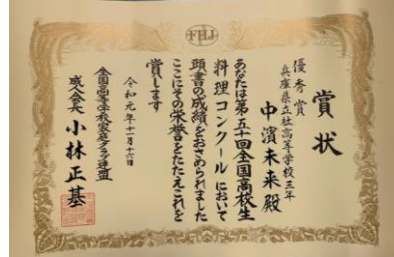
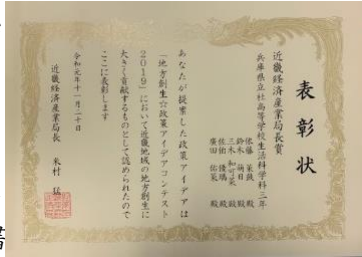


生活科学科3年生が頑張ってきた成果が表彰という形で現れました。先週の土曜日に

東京での表彰式に出席した中濱さんですが、全国高校生料理コンクールで優秀賞をいただきました。全国から応募のあった6716作品から2番目に良い優秀賞をいただきました。ナスを使ったタルトで(写真一番右)、この審査基準は、書類審査で①料理としての創意工夫、②500円以下で作れ栄養バランスが良いなどの審査項目をクリアした作品から専門家が実際にレシピ通りに作り、③小麦粉の特性を生かしているか、④高校生らしい手法で手軽にできるか、⑤味・食感・彩などの細かい項目を審査されるそうです。素晴らしい賞をいただいたと生活科学科の先生方も大喜びでした。さらに、大阪の授賞式に出席したグループは、「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」において近畿経済産業局長賞をいただきました。マルヤナギ小倉屋さんとの連携させていただき完成した「スープで食べるもち麦」の取組が認められたものです。この商品は、テレビでも取り上げられ、すでに販売されているものですが、手ごろな値段とともに先日のふれあいフェスティバル in 北播磨では売り切れるなど好評な商品です。また、右の写真は、吉田遥香さんが丹波栗新商品オーディションに応募し表彰を受けて、商品化された丹波マロンレアチーズ大福です。御菓子司「藤屋」さんで販売されているものを購入してきました。丹波市山南町にあるお店です。2月末までの限定販売となっています。よろしくお祈りします。



さらに今週の23日24日は各地での活動が予定されているようです。神戸では神戸情報文化ビルカルメニ前広場で行われる「神戸和菓子まつり」の受付や各和菓子店のお手伝い、さらに本校の焼き菓子等の販売をします。兵庫県菓子工業組合から依頼を受けたようで、活動の機会が増えることは、生徒にとってとても有意義なことだと思っています。神戸にお立ち寄りの際はぜひのぞいていただければと思います(写真左)。そして、姫路では「大手前通り活用チャレンジミチミチ2019」が11月2日から始まっていますが、11月23日には、本校の生徒たちが店を構え焼き菓子やもち麦スープを姫路城に向かう大手前通りで一区画を借りて販売するそうです(写真中)。各方面でこういった地域活性イベントを実施されており、本校のような生活科学科で商品開発を行っている学校は、イベントに参加することで接客の練習にもなりますし、何に気を付けなければならないかというも行動することで理解できるようになってきますので、本当にありがたい経験をさせていただいていると思います。11月24日には社ショッピングパーク Bioでもフードデザイン工房 seicaを開店し販売をさせていただきます。さらに、昨年実施して好評だった「加東市の魅力知り尽くちゃエツアー」が今年も企画され、間もなくチラシも配られるようです(写真右)。本校生活科学科2年生がバスガイドも含めて加東市の魅力を説明させていただきます。実施日は12月22日(日)神戸発着となっています。全国疏水百選にも選ばれている東条川疏水の魅力をしっかりと伝えるべく準備を進めているようです。



以上、週末ギリギリでしたが、生活科学科の活動紹介をさせていただきました。ご支援いただく関係機関の皆様本当にありがとうございます。また引率される先生方もありがとうございます。生徒の皆さんは多くの方々に支えられていることを実感しながら精一杯の笑顔で頑張ってきてほしいと思います。

以上、週末ギリギリでしたが、生活科学科の活動紹介をさせていただきました。ご支援いただく関係機関の皆様本当にありがとうございます。また引率される先生方もありがとうございます。生徒の皆さんは多くの方々に支えられていることを実感しながら精一杯の笑顔で頑張ってきてほしいと思います。